

第 1 回	仮設橋梁工事モニタリング/フィードバック 月例会議	平成16年3月4日	対象期間:平成16年2月4日～平成16年2月29日	那覇港湾空港工事事務所
	異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討	
目視観測結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導杭移設時等において、半径1～2m程度の局所的な濁りは見られたものの、周辺海域への拡散等、工事に起因する周辺海域への影響は認められなかった。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸域からの流入負荷量を捉えるため、比屋根湿地中央部付近と、通信基地側の2地点を2月23日より追加した。</li> </ul>	
水質調査結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・St. 1において、2月22日午後に監視基準SS7mg/Lを超える値(SS11mg/L)が観測された。</li> <li>・St. 19(流入水路部)において、2月9日午前にはSS32mg/L、2月22日午前にはSS150mg/Lを超える値が観測された。</li> <li>・St. 15、16のSSの増減は、同様な傾向を示している。</li> <li>・St. 18は低潮位時にSSが高い値を示す傾向がある。</li> <li>・St. 1、10、12、13、14は杭打ち作業時も含め、全般的にSSは小さい傾向にある。</li> <li>・流入水路部(St. 19、20、A)は、比較的高い値を示す傾向がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日は工事作業を実施していないため、工事による影響ではない。</li> <li>・目視観測の結果から、工事箇所からの濁りの拡散は認められない。2月9日、22日の両日とも降雨があり、陸域からの流入が要因と考えられる。</li> <li>・St. 19(流入水路部)の影響と、風浪等による底質の巻き上げと考えられる。</li> <li>・風浪等による底質の巻き上げと考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・St. 1が基準値(SS7mg/L)を満足することを確認した後に、杭打ち作業を再開した。</li> </ul>	
生物監視調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オキナワヤラガコの2月期の調査結果から、生息確認個体数はA地点で51個体、B地点で92個体が確認された。</li> </ul>			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事状況(仮設橋梁) <ul style="list-style-type: none"> <li>2月5日(木)より資材搬入開始</li> <li>2月9日(月)より杭打ち作業開始</li> </ul> </li> <li>・目視観測の結果から、工事に起因する濁りの影響は認められなかった。</li> </ul>			